NetIQ

お客様の成功事例

Identity Manager

SWCC昭和電線ホールディングス株式会社

SWCC昭和電線ホールディングス株式会社は、経営資源をグループ企業間で共有するために、ITアプローチに重点を置き始め、強力なアイデンティティ管理システムを必要としていた。同社はNetIQ® Identity Managerを使用することで、ワークロードの削減とアプリケーション間でのデータ共有を実現した。その結果、従業員の異動に要する期間を、それまでの1カ月から2日に短縮することが可能になった。



概要

SWCC昭和電線ホールディングス株式会社は、電線、線材、コイル、電力システム、コミュニケーションシステム、および関連デバイスの開発、製造、販売を行う日本企業の持株会社である。同社は、「Creating for the Future (より良い未来を創造すること)」をスローガンとして掲げている。

課題

持株会社SWCCは、資源をすべてのグループ企業間で共有することで収益の増加を図っている。同社は、共有可能な形式で通信やデータを収集および統合できるITアプローチを求めていた。「そのためには、新しいアイデンティティおよびアクセス管理システムを導入する必要がありました」と経営企画部主幹の三村規之氏は語る。

その際、ユーザ認証やアクセス制限の変更をすべて処理するのに最大1カ月かかることもありました。Identity Managerの導入により、この処理にかかる期間が2日に短縮されました」

SWCC昭和電線ホールディングス
株式会社経営企画部主幹
三村規之氏

「そこで、当社の世界中の業務拠点をつなぐ基礎的なネットワーク機器に手を加えることから始めました。ネットワークをアップグレードする際には必ずセキュリティが重要な問題になります。そのため、アイデンティティ管理は当社にとって大きな懸念事項でした」

ソリューション

持株会社に移行したSWCCでは、従業員の行き来が活発化し、異なる部署への異動や配属が増加した。「異動の活発化により、ユーザアクセス権の円滑な付与が困難になりました。そのため、この問題を解決できるシステムを必要としていました」と三村氏は言う。また、そのアイデンティティ管理システムは、SWCCが最近導入したMicrosoft Active Directoryのユーザ認証やアクセス制限と統合できるものでなければならなかった。

そこで、SWCCグループのAxio社がIdentity Managerの導入を提案した。Axio社は社内で4つのアイデンティティ管理ソリューションを検討した結果、柔軟性と拡張性を評価してIdentity Managerを最終的に選択した経験を持つ。Axio社はその経験から、Identity ManagerがSWCCのニーズに対応できる十分な柔軟性を備えていると確信し、このシステムをSWCCに提案した。

SWCC GROUP

概要

業界

製造業

場所

日本

課題

共有可能な形式で通信やデータを収集および統合するには、新しいアイデンティティおよびアクセス管理システムを導入する必要がある。

解決策

Identity Managerを使用して、ユーザIDやパスワードのマイグレート、および役割やアクセス権の設定または変更を単一のインタフェースで行う。

成果

+ 人事異動に関するユーザ管理プロセスが合理化された。
+ 監査情報に簡単にアクセスできるようになった。

「これまではデータをリンクする方法がありませんでした... Identity Managerを導入したことで、カスタマイズをほとんど必要とせずにデータを共有することが可能になりました」

SWCC昭和電線ホールディングス
株式会社経営企画部主幹
三村規之氏

www.netiq.com

新しいIdentity Managerシステムは、SWCCの社内システムの人事データと連動する。従業員の異動、採用、または退職時には、管理者は単一のインタフェースを使用して、ユーザIDやパスワードをマイグレートしたり、役割やアクセス権を設定または変更したりすることが可能だ。また、NetIQ Identity Managerシステムにより、販売や購入などの中核業務システムでシングルサインオン(SSO)が実現する。

成果

Identity Managerを導入するまで、SWCCの担当者は人事異動のたびに複数の申請用紙を作成する必要があった。NetIQ Identity Managerの導入により、このプロセスが合理化された。三村氏は、管理者にとってのIdentity Managerの利点についても称賛する。「当社では、毎年7月に定期人事異動があります。その際、ユーザ認証やアクセス制限の変更をすべて処理するのに最大1カ月かかることもありました。Identity Managerの導入により、この処理にかかる期間が2日に短縮されました」

さらに次のように続ける。「以前は、従業員が異動または退職しても、ユーザIDがシステムに残ったままという問題がありました。これからはこのような問題がなくなります。

Identity Managerの最大の利点は、その豊富なリンクモジュールにあります。これまではデータをリンクする方法がなかったため、人事データシステムとその他のグループウェアとの間でデータを共有するためには必ずカスタマイズが必要でした。Identity Managerを導入したことで、カスタマイズをほとんど必要とせずにデータを共有することが可能になりました」

SWCCは、Identity Managerを使用して、監査に必要な情報を簡単かつ効果的に取得することも可能になった。「必要なデータをすべて取得できるため、後から監査のための情報を収集しに行く必要がありません」と三村氏は述べている。

SWCCは最終的には、保険、年金、給与などの基本的な人事情報のデータだけでなく、その他のデータも管理して、役割のマイグレーションプロセス全体を自動化したいと考えている。たとえば、同社ではジョブの割り当て管理機能をIdentity Managerに実装することを望んでいる。三村氏は次のように言う。「役割のマイグレーションプロセスを完全に自動化することは困難かもしれませんが、今後のIdentity Managerに大きく期待しています」

NetIQ
ネットアイキュー株式会社
〒162-0845
東京都新宿区市ヶ谷本村町1-1
住友市ヶ谷ビル12F
電話 0800-100-5575（フリーダイアル）

info@netiq.com
www.netiq.com/communities
www.netiq.com/ja-jp/

北米、ヨーロッパ、中東、アフリカ、
アジアパシフィック、および中南米の
弊社オフィスの一覧については、
www.netiq.com/contactsをご覧ください。

www.netiq.com

568-JA1008-003 | Q | 05/16 | © 2016 NetIQ Corporation and its affiliates. All rights reserved. NetIQおよびNetIQロゴは、米国におけるNetIQ Corporationの商標または登録商標です。その他すべての企業名および製品名は、それぞれの商標権者に帰属します。